

浜通り平坦地域における大苗を用いた トルコギキョウ2月定植無加温栽培の実証(檜葉町)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農段階に応じた既存技術の体系化

研究課題名 トルコギキョウ2月定植季咲き作型の実証

担当者 鈴木洋平、江川孝二

I 実証技術の解説

1 要旨

浜通り平坦地域では、トルコギキョウ(中早生及び中生品種)を2月中旬に大苗で定植すると無加温パイプハウス栽培でも、L規格(福島県青果物出荷標準規格)以上の高品質な切り花が6月から出荷できる。

また、本作型により、無加温栽培の慣行法(12月定植、6、7月出荷)と比較し、本ぼ在ほ期間を約60日短縮できる。

- (1) 「ブランシュール(中早生)」、「レイナホワイト(中早生)」は6月中下旬、「セレブイエロー(中生)」は6月下旬から出荷が可能である(図1)。
- (2) いずれの品種も、福島県青果物標準出荷規格のL規格(切り花長70cm、有効開花数3~5輪)以上の切り花品質となった(表1、図3)。
- (3) 本作型には、3.5~4対葉の大苗を用いる(図2)。

2 期待される効果

- (1) 県内の慣行法と比較して、本ぼ在ほ期間を短縮できる。

3 活用上の留意点

- (1) 本試験は、檜葉町上繁岡のパイプハウスで実施したものである。

II 具体的データ等

品種 (早晩性)	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ブランシュール (中早生)	◎-----				■	
レイナホワイト (中早生)	◎-----				■	
セレブイエロー (中生)	◎-----					■

◎:定植 ■:採花期間 ---:内張り

※2月15日～2月29日の期間は夜間に内張り(厚さ0.075mm農PO)を設置した。

※栽植様式:畦幅80cm、条間10cm、株間10cm、中抜き2条の4条植え、黒マルチ。

※サイドフィルムは、25℃で自動開閉設定。

図1 浜通り平坦地域(楢葉町)におけるトルコギキョウ2月定植無加温栽培

表1 トルコギキョウ2月定植無加温栽培の切り花品質

品種	切り花長(cm) ^{※1}	調製重(g) ^{※2}	有効開花数 ^{※3}
ブランシュール	81.6 ± 2.4	131.2 ± 14.8	4.4
レイナホワイト	75.4 ± 3.1	132.9 ± 16.8	3.9
セレブイエロー	83.3 ± 3.6	118.9 ± 24.9	4.0

※1、2 切り花長、調製重は10茎の平均値±標準偏差

※2 切り花基部から20cm部分にある葉を除去した重量

※3 切り花の完全開花している輪数



図2 定植直後のトルコギキョウ大苗
2月16日、3.5対葉
品種:セレブイエロー



図3 トルコギキョウ切り花時の様子
仕立て方法:4枝、4花、4蕾
品種:セレブイエロー

III その他

1 執筆者 鈴木洋平

2 実施期間 平成28年度

3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

- (1) 農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」20-22年度 トルコギキョウの低コスト冬季計画生産の考え方と基本マニュアル(平成24年3月農研機構花き研究所)